

作成年月日	平成29年12月25日
作成部局 課室名	産業労働部国際局国際交流課

## 知事の海外出張（中国・広東省及び香港）の概要

今年度は、日中国交正常化45周年を迎えるとともに、兵庫県が広東省と友好提携を締結してから35周年を迎える記念すべき年である。これを機に、より一層の交流促進を図るため、知事を代表とする友好代表団が、県議会中国友好訪問団、県民交流団、また、神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会とともに中国の広東省を訪問し、省政府との交流協議や共同声明の調印を行った。

また、本県への中国観光客のさらなる誘客と消費行動促進を睨んで、モバイル決済が進んでいる中国の大手企業及びモバイル決済現場を視察するとともに、経済交流、文化交流関連施設を訪問した。

さらに、急速に経済発展する広東省と香港において活躍する兵庫県企業関係者との意見交換を行うとともに、広東省旅遊局（旅行会社も同席）や香港の旅行会社を訪問して、ひょうごゴールデンルートの観光PRや意見交換なども行った。

1 期 間 平成29年12月18日（月）～21日（木）

2 訪 問 先 中国（広東省、香港）

3 主な内容

（1）広東省

①兵庫県・広東省友好提携35周年記念事業

ア 林少春常務副省長との交流協議・共同声明調印

○日 時：平成29年12月19日（火） 18:00～18:45

○場 所：チャイナ・ホテル・マリオットホテル広州

○参加者：

（広東省側）

林少春常務副省長、張愛軍副秘書長・発展研究センター主任、陳秋彦外事弁公室主任、景李虎教育庁長、王瑞軍科学技術庁長、汪一洋文化庁長、曾穎如旅遊局長、呉軍商務庁副庁長、李暉環境保護庁副庁長、牛宝俊農業庁副庁長、李恵武発展研究センター副主任

（兵庫県側）

井戸敏三知事、黒川治県議会議長、陳明德神戸華僑総会会長、盧国勝兵庫県広東同郷会会長、西田裕県民交流団長、水口典久国際局長、多治比寛国際交流課長、和田博一秘書課主幹

（在広州日本国総領事館）

齋藤法雄総領事

## ○内 容：

馬興瑞省長が習近平国家主席主催の北京での中央経済工作会議参加のため広東省に不在であり、林少春常務副省長と両県省の交流協議を実施した。冒頭で、馬興瑞省長の公務により会えないことを遺憾に思う旨、また共同声明に基づき、兵庫との友好交流を更に深めていきたい旨の親書が知事に手交された。両県省の交流は、今後とも、経済、観光、芸術文化、青少年、環境、農業、学術・研究などの多岐に亘る分野で継続・強化していくこと等が確認された。

協議後、黒川治兵庫県議会議長、齋藤法雄総領事の立ち合いの下、馬興瑞省長が事前に署名された「兵庫県・広東省友好提携 35 周年共同声明」に井戸知事が署名した。

### <林常務副省長>

林副省長から、「知事は広東省の古い友人として 2001 年から広東省への訪問回数が 16 回を超えられ、自ら両県省の交流の懸け橋になっていることに感服した。

広東省の現況は、経済成長率 7.6%、GDP 8 兆人民元（約 132 兆円）を超える見込み、固定資産投資の成長率 15%を見込み、社会消費品卸売総額は 10%増加、輸出入総額成長は 9.4%など、総括すると広東省の現況は安定かつ健全である。

第 19 回党全国代表大会で、今後の経済発展と幸福な生活のバランスのため、経済の高速から高品質へとシフトされるべきであるとされた。来年は改革解放政策から 40 周年、40 年前の 20%を超える経済成長から 7%台の穏やかな成長へと変化している。広東省の課題は、習国家主席の新発展理念、イノベーション、協調、エコ、開放、共有に即した広東省の今後の運営を検討すること。幸い、ハイテク産業が 27.8%を占めるなどイノベーションの導入には成功している。広東も産業の力も強いが、日本・兵庫と環境、健康・医療、バイオなど協力関係を築き相互に発展していける分野がある。知事が日本広東経済促進会の会長を務められたことに感服している。

また、観光分野でも、日本の四季、広東の亜熱帯気候の差を利用して、例えば、雪の季節に温泉に入るなど、日本に訪問歴がない私には魅力的に映る。相互補完関係が成り立つと思うので、促進していきたい」と挨拶があった。

### <井戸知事>

井戸知事からは、「友好提携 35 周年を記念して、議会、県民、神戸華僑の皆さんと来訪したところ、このように歓迎していただき、また、林副省長から、両県省の交流の方向性をご説明いただきお礼申し上げたい。30 周年に際しては、様々な政治情勢の中、非公式に大きな歓迎を受けた。当時も今回も外事弁公室の皆さんのお陰であり、改めて感謝する。後ほど共同声明を 15 年ぶりに締結する。今後、さらに交流を深化していく決意をしている。締結当時、本県のほうが GDP は大きかった。今や、広東省は 5 倍の GDP を持つ経済先進省になった。まさに改革開放の成果である。経済の規模は違っても、林副省長がおっしゃった先端産業、環境、医療など切磋琢磨できる分野が多いのではと考える。

これからの水素社会を睨み、川崎重工が水素の拠点実験基地を神戸空港島に造った。航空機の非破壊検査トレーニングセンターにより、飛行機のサプライチェーンの人的な要請に県も支援している。午前中にウィーチャット（WeChat）や天河 CBD 管理委員会のディスプレイを見て、本県も学ばなければと思った。

また、観光分野では、本日、旅遊局を訪ねた際に旅行会社とも意見交換を行った。その際に、福岡に寄港するクルーズ船を瀬戸内、神戸まで是非、持ってきてほしいと思った。

過去に、中国 21 世紀海上シルクロード国際博覧会や中国（広東）国際観光産業博覧会に出展したが、具体的な動きもしながら、プロモーションをすることが大切であることに気が付いた。その他、青少年・人づくり、環境、経済など今まで以上に両県省の可能性はたくさんあることを知った。可能性を顕在化させていこうと思う」と挨拶した。



○表敬訪問の様子



○広東省から井戸知事の似顔絵贈呈

### <共同声明調印>

その後、齋藤在広州日本国総領事、及び、黒川兵庫県議会議長、林副省長の立ち合いの下、井戸知事が「兵庫県・広東省友好提携 35 周年共同声明」（参考資料 2）に署名した。



○署名



○署名後の記念撮影

### イ 共同声明の披露・省政府主催記念レセプション

○日 時：平成 29 年 12 月 19 日（火） 18:30～20:30

○場 所：チャイナ・ホテル・マリオットホテル広州

○参加者：

（広東省側）

林常務副省長、張副秘書長、陳外事弁公室主任、景教育庁長、王科学技術庁長、汪文化庁長、曾旅遊局長 他

（兵庫県側）

- ・友好代表団：井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他
- ・県議会中国友好訪問団：黒川議長 他
- ・県民交流団：西田裕 県国際交流協会友の会会員 他
- ・神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会：陳神戸華僑総会長、盧兵庫県広東同郷会長 他

(在広州日本国総領事館)

齋藤法雄 総領事

○内 容 :

#### <林常務副省長>

林副省長は、「遠路、来訪された兵庫県の友人の皆さんを熱烈に歓迎する。また、一堂に会し、友好提携 35 周年をお祝いでき、光栄と喜びの極み。両県省の交流と協力で多大なご支援をいただいた皆さんに感謝する。

覚書締結以降、ハイレベル指導者の相互訪問、経済貿易、教育、文化、観光、環境保全、農業などの分野で実りの多い交流と協力を行ってきた。井戸知事は、日本広東経済促進会の会長も務めるなど、広東省との交流にご貢献をいただいている。

友好提携 35 周年共同声明を交換、双方の努力で、これを実行に移し、今までの協力を土台に、各分野をさらに深化させ、両県省の交流を新たな段階に押し上げ、両県省の交流を日中関係の手本とするように、頑張ろう」と挨拶した。

#### <井戸知事>

井戸知事は、「両県州友好提携 35 周年の記念すべき年に広州を訪問でき、光栄である。今月初めには、安倍総理と習近平国家主席、李克強首相との首脳会談が相次いで開催され、改めて、両国の連携強化が約束された。

こうした日中関係をリードしてきたのが、兵庫と広東。1983 年の友好提携以来、これまで経済や観光、教育、人材育成など幅広い分野にわたり活発な交流を積み重ねてきた。こうした交流の積み重ねこそが、日中友好の礎となり、兵庫・広東両地域の発展の原動力となってきた。

今回、兵庫県議会中国友好訪問団、県民交流団、神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会とともに、広東省を訪問することができたのも、皆様のこれまでの尽力があればこそ。改めて感謝を申しあげる。

先ほどは、15 年ぶりに共同声明に署名し、両地域の交流の新たな発展に向けて素晴らしいスタートを切った。これからも本県は、広東省との相互理解を一層深め、人と人、地域と地域の交流促進にさらに力を注いでいく。皆様には引き続き、ご支援ご協力をお願いしたい。

本日のレセプションでは、できるだけ多くの皆様と語りひとときを過ごせればと思っている。また、広東省実験中学校の皆さんの合唱も、とても楽しみ。素晴らしい歌に乗せて、兵庫・広東の交流の輪が大きく広がっていくことを願う」と挨拶した。



○井戸知事の挨拶



○林副省長の挨拶

### <共同声明の披露・交換>

両県省代表から、「兵庫県・広東省友好提携35周年共同声明」（参考資料2）をレセプション参加者に対して披露し、その後、共同声明を交換した。



○共同声明の交換



○交換後、談笑する両県省代表

### <舞台上演>

この式典のアトラクションとして、広東省実験中学校45名の生徒から、両県省の友好提携35周年を祝して、素晴らしい歌のプレゼントがあった。次世代の交流の担い手の歌声は、参加者の顔を綻ばせ、両県省の友好の絆が将来に向け、さらに強くなることを確信させるものであった。

#### (曲 目)

私たちの田野、沂蒙山の歌、オーロラ、心の賛歌、故郷



○合唱風景

### ②兵庫県議会中国友好訪問団による広東省人民代表大会表敬訪問

○日 時：平成29年12月19日（火） 11:00～11:30

○場 所：リッツカールトンホテル3階カルートン1の間

○参加者：

(広東省人民代表大会)

李玉妹常務委員会主任、金正佳法政委員会委員、陳広東省外事弁公室主任 他

(兵庫県側)

・ 県議会中国友好訪問団：黒川議長 他

## ○ 内容：

広東省の議会にあたる人民代表大会を表敬訪問し、李常務委員会主任等と今後の両省県の交流推進に関して意見交換を行った。

### <李主任>

まず、李主任より歓迎の言葉が述べられ、出席者の紹介がなされた後、広東省の現状等の説明を受けた。

広東省の人口は1億1千万人。2016年の国民総生産は8兆人民元（約132兆円）、輸出入貿易総額は6兆人民元を超えた。中国の中では一番人口が多く、一番経済力もある。両省県は経済、環境、人材の分野で交流が盛んである。広東省に進出している日系企業は約2,400社、広東省を訪れる日本人観光客は年間60万人、広東省から日本へは年間20万人訪れている。そのような状況から、広東省の人民は、日本、そして、兵庫県に対しても良い印象と親しみを感じている。

今後の広東省と兵庫県との間で経済、観光、人材交流をさらに強化することを期待する。こうした交流をもって、両省県の人々が、相互理解を深め、人々が協力関係を築き、中日両国の人民友好関係の発展にも寄与できることも期待する。

### <黒川議長>

これに対し、黒川議長から以下のとおり表明した。

これまで、兵庫県と広東省とは経済、環境、教育、人材育成など様々な分野で協力を進めてきた。

先月末、兵庫県で開催された「日本広東経済促進会」において、IoTやAIをテーマに議論を深め、モバイル決済などの新たな取組について学ぶことができた。

また、去年は、中国21世紀海上シルクロード国際博覧会や中国（広東）国際観光産業博覧会などに出席したほか、観光プロモーション団の派遣も受け入れてもらった。そのような成果もあって、昨年兵庫県を訪れた外国人旅行者は中国が最も多くなっている。今年、人気のある観光地を「ひょうごゴールデンルート」と位置付け、更なる海外の観光客を呼び込み、観光交流を図っている。

さらに、高校生の相互派遣など、教育・人材交流も盛んで、今年は広東省から10名の高校生を受け入れた。

来年、兵庫県は県政150年の節目を迎える。日本の都道府県の中で最も古い県の一つである。我々県議会もこの150年目に向けて、更なる兵庫県の発展のために尽力している。

今後も両県省は、隣国の大切なパートナーとして、様々な分野において更に交流を充実させていきたい。

### <李主任>

先程、広東省の高校生を受け入れたという話があったが、こういった教育分野での交流は大変大事だと思う。日中が末永く友好関係を続けていくためには、青少年の相互理解を深めることが大切である。今後ともこのような青少年の交流をもっと増やす方がよい。

兵庫県が県政150周年を迎えられることを心からお祝いするとともに、今後の更なる発展を祈念する。

### <黒川議長>

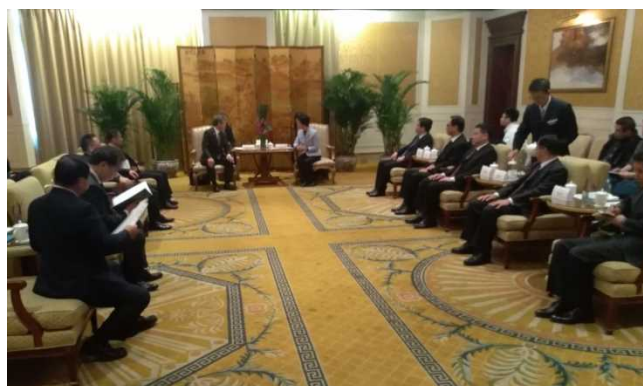
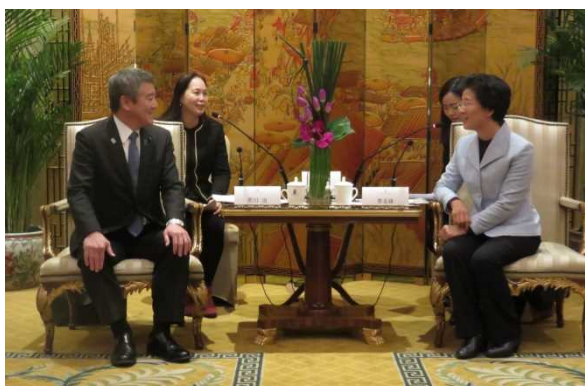
日中友好から45周年を迎えたが、その時の友好の証として、日本に初めてパンダがやってきた。本日、東京の上野動物園で生まれたパンダの一般公開が始まった。名前は

シャンシャンと言う。多くの日本人がその日を楽しみにしていた。

友好の証のパンダが今でも日本人にとってかわいい存在であることは大変うれしい。兵庫県の王子動物園にもパンダがいて人気者である。

#### <李主任>

広東省の動物園にもパンダがいる。中国人もかわいらしいパンダが大好きである。



○面談風景

### ③広東省旅遊局との意見交換

○日 時：平成 29 年 12 月 19 日（火） 14:00～15:00

○場 所：広東省旅遊局

○参加者：

（広東省側）

- ・ 旅遊局：曾穎如局長、梅其潔副局長、梁永忠国際交流合作処調研員 他
- ・ 外事弁公室：欧陽江旋副巡視員、張海波調研員、呂簪主任科員 他
- ・ 旅行会社：広東南湖国際旅行社有限責任公司 王喜娜 エグゼクティブマネージャー、  
欧艶 アウトバウンド部マネージャー、広東省青年旅行社 李学純 副エグ  
ゼクティブマネージャー、広州広之旅国際旅行社股份有限公司 秦蓓 日韓  
センターマネージャー

（兵庫県側）

- ・ 友好代表団：井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事  
務所長 他
- ・ 県議会中国友好訪問団：黒川議長 他
- ・ 神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会：陳神戸華僑総会長、盧兵庫県広東同郷会長 他

○内 容：

<曾旅遊局長>

曾局長は、「35 周年の記念すべき年に井戸知事に来訪いただき感謝する。広東省には丹霞山などの自然や世界一高所にある観覧車を有する広州タワー、現在建設中の広州、香港、マカオを結ぶ港珠澳大橋など多くの観光名所がある。次回は是非こうした観光名所をご案内したい。今後、両省県の観光交流を進めていきたいと考えており、ご希望の具体的な協力案件があればお聞きしたい」と挨拶。旅遊局及び広東省主要旅行会社の代表を紹介した。

<井戸知事>

井戸知事は、「兵庫県と広東省の友好提携 35 周年という記念すべき年に、こうして広

東省の地でお目に掛かることを大変嬉しく思う。

これまで、兵庫県は広東省と経済、環境、教育・人材育成など様々な分野で協力を進めてきた。

昨年は、中国 21 世紀海上シルクロード国際博覧会や中国（広東）国際観光産業博覧会などに出展させていただいた他、観光プロモーション団の派遣も受入いただいた。お陰で、昨年、兵庫県に訪れた外国人旅行者は中国が最も多くなった。

広東省との関係で拠点は、孫文記念館。兵庫県神戸市の舞子にあるが、広東省民にも分りやすいと思う。

今年は、人気のある観光地をひょうごゴールデンルートと位置づけ、香港経済交流事務所にひょうご国際観光デスクを設置するなど、更なる観光交流の促進に取り組んでいる。先月末開催された「日本広東経済促進会」では、テンセントのモバイル決済も紹介された。兵庫県の商店街にも導入できないかと、現在検討しており、更なる誘客につなげたいと考えている。

これらの交流と協力をふまえ、今後も両県省は、隣国の大切なパートナーとして、様々な分野において更に交流を充実させていきたい」と挨拶した。

#### <黒川議長>

黒川議長は、「兵庫県と広東省の友好提携 35 週の記念の年に、兵庫県議会の皆さん 7 名で伺った。本県は観光資源が多い。また、来年はワールドカップラグビー、2020 年は、東京オリンピック、2021 年は関西ワールドマスターズゲームがある。是非、兵庫県に送客願いたい」と挨拶した。

#### <松田議員>

松田議員から「旅行会社の人々から、兵庫県がインバウンドを促進するため、こういう努力をしたら良いのということがあれば教えてほしい」との質問を受けて、広東省主要旅行会社から、以下の回答があった。

#### ○王喜娜 広東南湖国際旅行有限責任会社エグゼクティブマネージャー

兵庫県・神戸も当社の旅行商品では、すでにコースに入っている。神戸ビーフ、有馬温泉、鳴門の渦潮は客の反応も良い。人気があるのでリピーターとなっている。1 回目はゴールデンルート、2 回目、3 回目はグルメ等が人気の旅行商品である。しかし、沖縄、北海道、大阪、京都と比べて、PR の力が弱いと思う。ウィーチャット、ウェイボーなどアプリを通じた宣伝が個人手配旅行（F I T）に効果的である。

#### ○李学純 広東省青年旅行社副エグゼクティブマネージャー

広東省の人は、船の旅に興味を持っている。神戸も港があるので、船が一晩泊まると、県内に誘客できると思う。県と民間の協力で推進することが必要。プロモーションにも力を注ぐべき。団体でなく個人客が多いので口コミで選ぶ。ホテルや催し物のチケット確保もしたい。青少年の修学旅行も重要。東京ではビザなしで来られる。修学旅行向けのアプローチもすべきだ。

#### <井戸知事>

福岡に寄港するクルーズ船を瀬戸内、神戸まで是非、持ってきてほしい。プロモーションを行っているが、個人客向けの PR も行っていく。東京だけで無く神戸にもビザはいらない。修学旅行客へはアプローチをしているが十分でないことが分かった。



## ○秦蓓 広州広之旅国際旅行社股份有限公司

10年間のお付き合いである。兵庫県は、何度も広東省を訪問してプロモーションを行っているが、その効果に疑問を抱えていると思う。しかし、関西5日間のコースでは兵庫県も入る。デラックスのコースであれば、有馬温泉もレギュラーの旅行商品となっている。

最近の変化は、消費者のレベルが上がっており、世界との競争も激化していること。中国の旅行なら、上海は行くが、無錫にはいかない。兵庫県という名前だけでは足りない。日本酒の産地であり、温泉も有馬温泉、城崎温泉もある。こうした個性ある観光素材をウィーチャットなどのプラットフォームを使って、旅行商品と併せて発信することがプラスになると思う。



○会議風景



○集合写真

## ④広東省企業等視察

### ア テンセント（騰訊）・モバイル決済現場視察

○日 時：平成29年12月19日（火） 9:00～10:00、11:50～12:00

○場 所：テンセント（騰訊）ウィーチャット本部

○参加者：

（テンセント側） ケビン・シモタ ウィーチャット営業部営業部長  
リオネル・シム ウィーチャット営業部国際営業部長

（兵庫県側）

- ・友好代表団：井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他
- ・県議会中国友好訪問団：黒川議長 他
- ・神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会：陳神戸華僑総会長、盧兵庫県広東同郷会長 他

○内 容：

中国において急速な発展を遂げるモバイル決済。来訪数が最も多い中国からの旅行者（32.5%）の消費を促す上で、県内商店街等でのモバイル決済導入への期待も高まっている。そこで、アリババグループ（阿里巴巴集団）と中国国内のシェアを二分するモバイル決済システムを提供する広東省企業のテンセント及びそれが実際に使われている現場の視察を行った。

### <テンセント（騰訊）ウィーチャット本部訪問>

テンセントは、1998年創業の広東省深圳に本拠を置く持ち株会社で、中国最大手のIT・ネットサービス会社。ウィーチャット（微信：広州市に拠点設置）と呼ばれるメッセージングアプリ（LINEのようなもの）を軸に（MAU: Monthly Active

Users：1か月に1度でも使うユーザー8.9億人)、幅広くサービスを展開し、2016年第4四半期の時価総額30兆5千億円はアジアNo1となっている。

ウィーチャット・ブランドの下で提供する電子決済サービスであるウィーチャット・ペイが中国モバイル決済市場のシェアを拡大し、アリババグループを猛追している(2016年38%)。このサービスは、スマホアプリに銀行口座を紐づけて、会計時には、画面に表示されたQRコードを読み取ることで、即時決済を可能とするシステムである。レストラン、タクシーはもとより、市場、理髪店、雑貨など、ユーザーのウィーチャットへの活用分野はますます広がりを見せている。

なお、観光ホームページ、県立大学案内などをウィーチャット上に載せることを検討することとした。



○玄関先にて



○概要説明

### <モバイル決済現場視察>

ウィーチャット・ペイを使って、モバイル決済を行う現場を視察した。ショッピングセンター内の中国茶の喫茶店で、プーアール茶をテイクアウトする際に、スマホ決済を実践した。

- ① スマートフォンで店のQRコードを読む。
- ② スマートフォンに店舗情報が現れる。
- ③ プーアール茶の価格を打ち込み、ウィーチャット・ペイで決済を行った画面を店員に見せる。(20人民元)
- ④ 商品を受け取る。

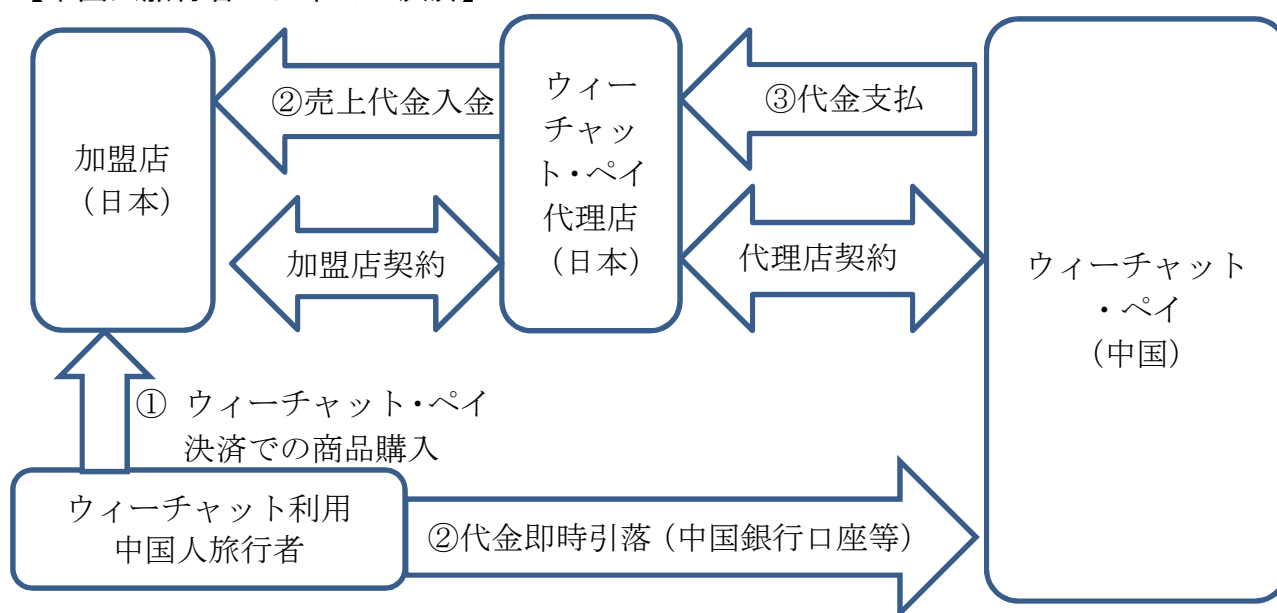


○実践風景



○QRコード

(参考) ウィーチャット・ペイ決済のフロー図  
【中国人旅行者の日本での決済】



イ 天河中央商务区 (CBD: Center Business District) 訪問

＜広州ウエストタワー＞

○日 時：平成 29 年 12 月 19 日 (火) 10:25～10:55

○参加者：

- ・友好代表団：井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他
- ・県議会中国友好訪問団：黒川議長 他
- ・神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会：陳神戸華僑総会長、盧兵庫県広東同郷会長 他

○内 容：

(説明者)

広州市天河中央商务区 (CBD) 管理委員会 温妍捷 他

(地区概要)

天河中央商务区 (CBD) は高さ 300m 以上の高層ビルが密集し、広州において世界の上位 500 社にランクインするグローバル企業が最も多く立地している。

エリア内に会社本部を設けているグローバル企業は 13 社、うち 3 社は世界上位 500 社に名を連ねる。これに加え、世界上位 500 社のうち 140 社が計 184 拠点を設けているほか、中国上位 500 社のうち 20 社が立地する。

2016 年の広州天河 CBD の GDP は 2,700 億人民元となり、国内各地の CBD のトップに立った。

家賃は㎡当たり 400 人民元 (約 6,800 円) 程度、政策的に入居促進対策が行われているとのこと。

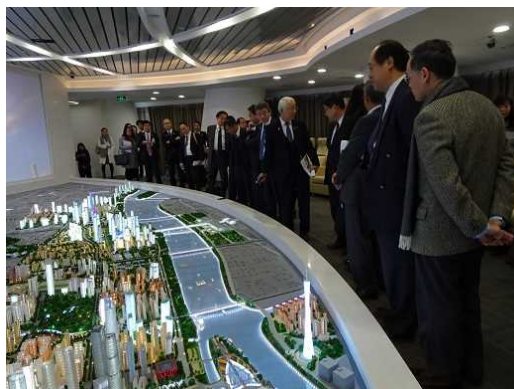
(事業内容)

広州市天河中央商务区管理委員会は、広州市天河中央商务区 (CBD) のマネジメント、マーケティング、サービスを主に担当し、珠江新城 (新都心) に重点を置きつつ「員村延伸区」及び「天河北」などハイテク産業の集積エリアに立地する企業にもサポートを提供する。

下部組織として弁公室、投資促進部、企業サービス部、環境管理の 4 部門が置か

れ、日常的な調整作業や企業誘致活動、きめ細かな運営管理を担っている。

なお、ジオラマ・タッチパネル、その内容など情報伝達に音が用いられている状況も視察した。



○視察風景（天河 CBD 地区のジオラマ）

### <広州イーストタワー>

○日 時：平成 29 年 12 月 19 日（火） 11:10～11:40

○参加者：

（広東広信君達法律事務所側）

王曉華主席、陳偉雄弁護士、安田啓明東京事務所事務長

（兵庫県側）

・友好代表団：井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他

・神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会：陳神戸華僑総会長、盧兵庫県広東同郷会長 他

### ○事業内容

広信君達法律事務所は広東初の「特殊普通パートナーシップ型」総合大型法律事務所。広州市に本部を置き、南寧、深圳、中山、東莞、武漢、清遠にも支部を有する。

広東、香港、マカオを中心に、全国向けにグローバルなサービスを展開する。優秀な弁護士を数多く擁し、良質な法律サービス、健全なマネジメントにより「全国優秀法律事務所」、「全国法律サービス業会文明サービス窓口」、「部級文明法律事務所」、「広州十佳法律事務所」など多数の称号を獲得。第 16 回広州アジア大会では、唯一の法律顧問を担当している。

また、東京にも事務所を設置して、中国企業の日本進出を支援しており、兵庫県においては、深圳市に本社を設置するゲノム研究を行う B G I を神戸キメックセンタービルに立地支援した実績がある。

家賃は㎡当たり 300 人民元（約 5,100 円）程度で、政策的に入居を促進しているとのこと。

なお、同事務所主催の対日投資セミナーへの参加を検討することとした。



○集合写真

## ウ 芸術文化施設視察

### (ア) 広州芸術博物院

○日 時：平成 29 年 12 月 19 日（火） 15:20～16:00

○参加者：

（説明者）王堅広報部長・副研究員 他

（兵庫県側）

- ・友好代表団：井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他
- ・県議会中国友好訪問団：黒川議長 他
- ・神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会：陳神戸華僑総会長、盧兵庫県広東同郷会長 他

○内 容：

広州芸術博物院は、白雲山の麓、羅湖（Luhu Lake）に位置し、面積は 3,300 m<sup>2</sup>、総面積は 40,300 m<sup>2</sup>を誇る。1995 年に改築され、同年に完成したプロジェクトの第 1 段階として 2000 年 9 月 23 日に一般に公開された。第 2 段階は 2003 年に完成した。この博物院は、コレクション、研究、展示、教育、コミュニケーション、エンターテインメントと多彩で南中国最大の美術館の一つである。現代のかつ建築技術を誇る施設と豊かな芸術的雰囲気が有名である。

全王朝、特に嶺南地域の書道作品の収集に重点を置いており、中国絵画、油絵、彫刻などのカテゴリの作品も展示している。陶器、木工、切手、文房具、外国の遺物、写本などコレクションは新石器時代から現代にかけてのものであり、その多くは歴史的・芸術的価値の高い国家文化遺産である。

仇英の絵があったのには感動した。ただ、いずれのケースもガラスの接触面に隙間があり、保存状態が懸念された。



○視察状況

### (イ) 西漢南越王博物館視察

○日 時：平成 29 年 12 月 19 日（火） 16:40～17:20

○参加者：

（説明者）

王維一西漢南越王博物館宣教部主任 他

（兵庫県側）

- ・友好代表団：井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他
- ・県議会中国友好訪問団：黒川議長 他

・神戸華僑総会・兵庫県広東同郷会：陳神戸華僑総会長、盧兵庫県広東同郷会長 他

○内 容：

西漢南越王墓は広州市解放北路の象崗山にあり、今から 2100 年前に建てられた、西漢初期（日本では前漢と呼ばれている。）の南越国君主であった文帝趙昧の墓。1983 年に発掘調査が始まり、中から 15 人の殉死者と、玉器、青銅器を中心とする 1,000 件以上の埋葬品が発見され、10 年をかけた遺跡の保存とともに博物館を建設した。

西漢南越王博物館は 2000 年以上の歴史を持つ古都広州のシンボリックな存在で、建築面積は 1.4 万平方メートル、総合展示館、王墓遺跡、本館の 3 つの部分から形成されている。

ガラス片やイラン陶器など B C 100 年頃に既に交易が行われていたこと、王墓から発見された装飾品など技術の高度さに驚かされた。



○視察風景

⑤在広州兵庫県企業関係者との意見交換

○日 時：平成 29 年 12 月 18 日（月） 19:30～21:30

○場 所：橋美食家（広州で有名な沙面にあるレストラン。外事弁公室の紹介で確保）

○参加者：

（在広州邦人関係者等）

齋藤法雄在広州日本国総領事、天野真也 JETRO 広州所長、谷口弘記広州兵庫県人会世話役（ひょうご国際ビジネスデスク）、橋本優佛山勇一精鍛有限公司（ユニタイト）副董事長、五十嵐武広州日本商工会事務局長（JAL 広州支店長） 他

（兵庫県側）

井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他

○内 容：

＜井戸知事＞

井戸知事からは、「広東省との友好提携 35 周年を迎え、広州を訪問した。この間、広東省は驚異的な経済発展を遂げ、今や本県の 5 倍の GDP 規模。その広東省と本県が事務局となり日本と広東の企業間交流促進のプラットフォームである日本広東経済促進会を毎年交互に開催している。先月開催した本年度の会議で、中国ではモバイル決済が非常に進んでいることに驚いた。本県へのインバウンドへの活用を睨み、明日、関連企業を訪ねる。その他、旅遊局長を訪ね、本県へのさらなる誘客を要請する。さらに、環境、青少年交流など多岐に亘って交流をさらに進めるため、15 年ぶりに共同声明書に調印する。今回、県議会、県民、神戸華僑の皆さんと訪問したところ、地域と地域、人と人の草の根の交流を今後とも進めたい」と今回の訪問趣旨を込め挨拶

挨拶をした。

#### <齋藤総領事>

齋藤総領事からは、「知事再選を改めてお祝い申し上げる。広東省の朱小丹前省長からも私に祝辞が述べられるほど、知事は広東省の方々に絶大な信頼関係を築いて来られたことに敬意を表したい。今回も県議会、県民、神戸華僑の皆さんとお越しになられたところ、35周年事業のご成功を祈念する。最近、日本企業が、広東省に再び注目をしている。11月末、日中経済協会連合訪中代表団が広東に来られた。団長である志賀日産自動車会長は、深圳の感想を、躍動感があり、イノベーションに満ちている。新鮮だ。まるでインキュベーションセンターであると評された」と挨拶された。

#### <天野 JETRO 広州所長>

天野 JETRO 広州所長からは、「深圳の魅力は、①最も起業が盛んな都市であること。1日、1,000社が生まれ、9割が2、3年で消える。しかし、生き残った企業には、テンセント（IT）、BYD（電気自動車）、DJI（ドローン）のような世界企業が育つダイナミズムがある、②中国のイノベーションを牽引していること。中国の国際特許出願件数のうち約半分を深圳が占める。③これまで広州は自動車産業の拠点、深圳は、電子・スマホ産業の拠点と別産業として発展してきた。これからは、スマート車として、両者が融合する、広州・深圳イノベーション回廊構想などがある。このように中国のイノベーションを支える地域が深圳であり、これを進めてきた深圳市書記が、馬興瑞広東省長。ますます目が離せない地域である」と現地経済状況の紹介があった。

#### <谷口県人会世話役>

谷口県人会世話役からは、「県人会には、約350人の会員がいる。広州での会合だけでなく、春節祭（来年2月15日）には毎年、神戸でも県人会を開催している」との情報提供があった。

#### <五十嵐広州日本商工会事務局長>

五十嵐広州日本商工会事務局長からは、「中国人観光客が、団体旅行から個人手配旅行（FIT）指向に変化する中で、ゴールデンルート以外の地域への需要が高まっている。来年4月までに、広州広之旅国際旅行社と一緒に兵庫県を訪問したい」とのインバウンド促進に繋がりそうな情報提供もあった。

#### <橋本副理事長>

橋本副理事長からは、「12年前、800人民元であった初任給が、今や2,500人民元の3倍の初任給になっているなど広東の経済力は確実に伸びている」などと知事の挨拶を踏まえ、広東省への進出企業からの視点による情報提供をしていただいた。



○集合写真

## (2) 香港

### ①在香港日本国総領事館 松田大使兼総領事面談

○日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水） 15:00～15:50

○場 所：在香港日本国総領事館

○参加者：

（在香港日本国総領事館側）

松田邦紀大使兼総領事、廣田司総務部長、石倉智美領事

（兵庫県側）

井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他

○内 容：

#### <井戸知事>

井戸知事から、「兵庫県と広東省が友好提携 35 周年の記念すべき年であり、県議会、県民、神戸華僑の皆さんと広州を訪問した。李希書記、馬興瑞省長が習近平総書記主催の北京での中央経済工作会議参加のため広東省に不在であったのは残念だが、林常務副省长と両県省の交流協議を踏まえ、15 年ぶりに共同声明に調印し、両地域の交流の新たな発展に向けて素晴らしいスタートを切った。また、ここ香港では E G L の袁主席とお会いし、さらなるインバウンド誘致を要請するほか、香港に進出されている本県ゆかりの企業の皆さんと意見交換をする」と、今回の来訪趣旨を説明した。

#### <松田大使>

松田大使からは、「①広東省 9 都市、香港、マカオを対象地域とするベイエリア計画が始動する。香港と珠海、マカオが来年 3 月には橋で繋がるなど大型インフラも整備されていく。広東省と友好提携関係にある兵庫県には、是非、注目してほしい。また、②香港から日本への観光客は 2016 年で 184 万人。今年は 220 万とも言われている。私自身が神戸のファンなので敢えて感想を述べるが、外国人客の宿泊者数統計でも神戸の実力から言って少し寂しい気がする、③本年 10 月～11 月、日本秋祭 in 香港を開催した。香港政府からも非常に喜ばれており、来年度も実施予定である。是非、兵庫県にも、例えば、宝塚歌劇にご出演いただくなど貴県の文化紹介を香港で実施いただけないだろうか」などのご依頼があった。

#### <井戸知事>

井戸知事からは、「広東省と本県がプラットフォームとなり毎年、開催地を交互に換えて実施している両県省の企業交流会である日本広東経済促進会は、来年度、広東省で実施する番である。私が日本側会長をしているので、「広東、香港、マカオベイエリア計画」を議題とすることは可能である。また、10 月、11 月頃開催しているので、これに併せ、香港にも寄り、日本秋祭 in 香港に淡路人形浄瑠璃とともに参加することは検討可能である。本県へのさらなるインバウンド促進は課題であり、本日も E G L の袁主席に協力を要請することとしている」などと回答した。



○総領事館にて集合写真



## ② J E T R O 香港所長との意見交換

○日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水） 12:00～13:00

○場 所：香港日本人倶楽部レストラン

○参加者：

（J E T R O 香港側）

伊藤 亮一 所長

（兵庫県側）

井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他

○内 容：

### <井戸知事>

井戸知事から、「兵庫県と広東省が友好提携 35 周年の記念すべき年であり、県議会、県民、神戸華僑の皆さんと広州を訪問した。ここ香港では E G L の袁主席とお会いし、さらなるインバウンド誘致を要請するほか、香港に進出されている本県ゆかりの企業の皆さんと意見交換をする」と、今回の来訪趣旨を説明した。併せて、香港フードフェアでの支援に関し謝辞を述べた。

### <伊藤所長>

伊藤所長からは、まず、「中国返還 20 周年を迎え、中国に接する「新界」（ニューテリトリー）地域が注目されている。また、香港は成熟化しているのに人口増加している。その理由は移住人口が 180 万人もおり、その殆どが中国大陸からの移民である。そのため、公用語の中では中国語の比重が高まり、英語ができなくなる傾向にある。香港の小売業は中国の観光客に依存し、香港を介した中国企業の直接投資の動きは活発化している。その結果、経済成長は 3 % 程度と好調であり、具体的内容は明らかでは無いが広東・香港・マカオベイエリア計画などビッグプロジェクトも始動した。また、不動産価格の上昇が激しく、例えば 2 L D K のマンションでは、20 年前に 2,000 万円程度だったものが、現在では 1 億円を更に超えているとのこと。

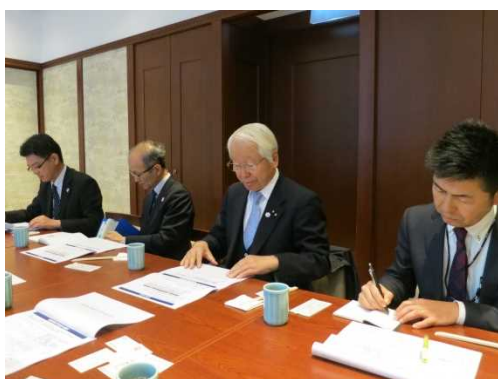
続けて、日本企業が香港を目指す理由について、同所長によると、「税金が低く、自由にビジネスができること。また、日本を超える所得水準の高さによる高価な商品も売れる消費マインドにあるという。加えて、中国本土や ASEAN へのアクセス良好な地理的な優位性があること。さらには、イギリス統治下に浸透した法治体勢の徹底と国際性豊かな人材の多さなどにある」とのこと。

「香港事務所は、ジェトロ 73 事務所中で来訪者数がトップ 10 に入る。その内訳は、投資相談より販路開拓・拡大の相談が多く、食品市場を狙うものが多い。1,200 店舗を超える香港での日本料理店に加え、最近では「おむすび」など中食も広がりを見せている。売り込みに当たっては、外食が多い香港人の食生活を良く把握してアプローチする必要がある」とのこと。また、「日本的なスイーツも人気があり、輸出品目に日本からの小麦が上位で入っている理由である。日本酒の販路開拓でも香港人が、徐々に品質の良いモノを要求する気質を分かって、初めから最高級品を売り込んで「だめ」など実践的なアドバイスをしているとのこと。

さらに、インバウンドに関しては、「日本への旅行熱は高まる一方であり、国別では第 4 位。昨年、日本への旅行者数である 184 万人は既に超え 220 万人を予想。都道府県別の宿泊数を見ると西高東低。旅行者の特徴は、支出額はアジア最大、旅行雑誌からも情報収集、ほとんどが個人手配旅行（FIT）、高いレンタカー比率、温泉以外では食に関心がある。香港人へのアプローチとしては、知的好奇心を刺激、コトで

観光素材を提案、現地ならではの食を売りに物産と絡めた取り組みが必要」などと説明された。

今後とも、香港経済交流事務所を通じて、連携を強化していくこととした。



○ブリーフィング風景

### ③在香港兵庫県企業関係者との意見交換

○日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水） 19:00～21:00

○場 所：味苑（香港にある広東料理レストラン）

○参加者：

（香港在住邦人関係者 側）

長谷川潤三菱電機（香港） 董事長兼総経理、鳥海寿郎同社会インフラ事業部総経理、音田和幸川崎重工業（香港） 董事長兼総経理、小出進一郎神栄香港支店長、三原政一郎今啓珍珠（香港） 有限公司総経理、石井利一石井国際有限公司（香港） 董事長・総経理、尾崎倫明 MOI 技術有限公司（三ツ星ベルト） 総経理、福井大樹りそな銀行香港駐在員事務所長

（兵庫県側）

井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他

○内 容：

<井戸知事>

井戸知事からは、「今回の訪問は、広東省との友好提携 35 周年記念したもの。広東省とは観光、青少年、文化など多分野において交流を進めており、特に経済においては、日本広東経済促進会の日本側事務局を兵庫県が担うなど、重点をおいて取り組んでいる。来年は、兵庫県政 150 周年、節目の年らしい迎え方をしたい。そのために、新たに人口が減少しても活力ある兵庫づくりをしていきたい。香港は、世界一の長寿でありながら、大陸からの移住により人口が増えており、活気に溢れている。是非参考にしたい」旨の挨拶をした。

<参加者>

参加者からは、「海外販売を重視して香港事務所を設立したこと、神戸を中心とした日本製のあこや真珠の評価が高く人気があること、食品の分野に重点を置いた取組を進めているなど、香港マーケットを活用したビジネス展開や、一方で、不動産・人件費の上昇が激しく、経営を圧迫していること」など、香港における経済情勢について意見交換を行った。

#### ④香港 EGL Tours 訪問

○日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水） 16:30～17:30

○場 所：EGL ツアーズ本社

○参加者：

（EGL ツアーズ側）

袁文英主席兼執行董事、梁耀子シニアマネージャー、濱木由美日本へのインバウンド担当マネージャー

（兵庫県側）

井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他

○内 容：

＜EGL ツアーズ袁主席＞

香港における訪日旅行取扱最大手旅行社の EGL ツアーズ袁主席からは、「関西での宿泊場所不足を解決するため、大阪の浪花区に本年 11 月 22 日に自社ホテルを開設した。今後一層、関西への誘客を進めたい。兵庫県関係の商品造成も頑張っており、例えば、12 月下旬に神戸の六甲人口スキー場を組み込んだ商品には 300 人程度が参加予定である」と説明があった。（参考資料 4）

＜井戸知事＞

井戸知事からは、「ひょうご観光親善大使として、日ごろから、本県への誘客に係る功勞に対し改めて感謝する。本県では、神戸、姫路城、城崎温泉を繋ぐ周遊ルートを「ひょうごゴールデンルート」として、設定・提案して本県のインバウンド観光ブランド力向上を図っている。また、最近、峰山高原リゾート（ホワイト・ピーク）というスキー場ができた。是非、活用いただきたい。さらに、ニジゲンノモリなどもアニメが好きな香港人に受けると思う。明石の魚の棚などもお勧めである」など、県香港経済交流事務所が情報提供して作成された観光フリーペーパー「Japan needs」（参考資料 5）などを使って本県の観光資源の魅力を紹介し、商品造成を依頼した。

また、当日の現地新聞に、井戸知事の香港訪問歓迎と関西ツアーを PR した記事を掲載いただいた（参考資料 6）。



○ゴールデンルートに見入る袁主席

#### ⑤香港そごうのダイヤモンドビジョン視察

○日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水） 13:00～13:15

○場 所：香港そごう

○参加者：

井戸知事、水口国際局長、多治比国際交流課長、杉山香港経済交流事務所長 他

○内 容：

香港随一の繁華街で、来訪者が必ず訪れる銅鑼灣（コーズウェイベイ）のランドマークとして、香港そごうの壁面に三菱電機（香港）が製造するダイヤモンドビジョン（大型カラーディスプレイ装置：縦 19.2m×横 71.98m）が導入され、本年 10 月 27 日から稼働している。同装置は、日本では「オーロラビジョン」の名称で親しまれ、甲子園球場や東京ドームのバックスクリーンに設置されている。同社の特殊技術により、昼間の日光の下でも見やすく、また、見る角度による色彩の変化を抑えることで高画質が保たれている。

なお、三菱電機は、本県の神戸、伊丹、赤穂に生産拠点があり、香港では電力・交通・公共の社会インフラ事業で事業展開を行っている。



○香港そごうのダイヤモンドビジョン

<行 程>

日時	日程
12月18日 (月)	関西国際空港 発 広州白雲国際空港 着 在広州兵庫県企業関係者との意見交換 <b>【広州泊】</b>
12月19日 (火)	広東省企業（テンセント）・モバイル決済現場視察 天河CBD地区訪問 広東省旅遊局との意見交換 広東省芸術博物院・南越王博物館視察 広東省副省長表敬訪問・交流協議・共同声明調印 広東省主催記念レセプション <b>【広州泊】</b>
12月20日 (水)	広州発／香港着 <b>JETRO</b> 香港所長との意見交換 在香港日本国総領事館大使兼総領事との面談 <b>EGL Tours</b> 訪問 在香港兵庫県企業関係者との意見交換 <b>【機中泊】</b>
12月21日 (木)	香港国際空港 発 関西国際空港 着

<参考資料>

- 1 訪問団名簿
- 2 兵庫県・広東省友好提携 35 周年共同声明
- 3 港珠澳大橋
- 4 E G L の関西ツアーパンフレット
- 5 現地フリーペーパーでの兵庫県観光特集
- 6 香港「明報」(新聞記事)
- 7 訪問に関する現地新聞記事

(問合せ先)  
産業労働部国際局国際交流課交流企画班  
TEL : 078-362-9017